

表3 指導過程

[本時の目標] 全文を読み通し、心に残ったことを話し合い、自分なりの学習課題を持つことができる。

展開過程

学習内容・活動	時間	指導上の留意点・評価
(1) 本時の課題を知る。 ○ 全文を読み通し、心に残ったことを話し合うこと。	5分	○ 心に残ったことを一つでも良いから書くことを指示し、どの子にも課題解決の意欲を持たせるようにさせたい。
(2) 発音・発声の練習を行う。 ○ 身体トレーニング ○ 呼吸練習 ○ 発音・発声練習	10分	○ 身体トレーニングは、身体（特に口・アゴ付近）の緊張をほぐすこと、呼吸練習は複式呼吸を練習すること、発音・発声ははっきりと五十音を発声することが目的である。
(3) 全文を読みとおす。 ①. 題名やさし絵について話し合う。 ②. 全文を読み通す。	25分	○ 「どろんこ祭り」という題名やさし絵にふれながら、読もうとする意欲を持たせる。 ○ 遅くても良いから一字一句正しく読むようにさせる。進出漢字や難語句はあらかじめ黒板に提示しておき、それ以外で読めないものはグループで教え合い、それでもわからない漢字の読みや言葉の区切りは机間巡視で指導する。
(4) 強く心に残っていることについて話し合う。 ①. 一番、心に残っていることを作文に書く。 ②. 発表し合う。		○ 題名やさし絵について話し合った内容にふれ、せつちゃん、三郎の心の移り変わりについてを中心に話し合うようにさせる。 ○ 3～5行の作文にまとめさせる。
(5) 自分なりの学習課題を持つ。 ○ せつちゃんについて ○ 三郎について ○ どろんこ祭りについて	5分	○ 理由をつけ足して発表するようにさせる。 ○ 心に残ったことの発表をまとめ合うなかで、せつちゃんや三郎のこと、またはどろんこ祭りのことを中心に、自分なりの課題を持たせるようにさせたい。

② 検証授業2とその考察

(音声のねらいに基づく検証授業) 省略

③ 検証授業3とその考察

(語句の意味理解のねらいに基づく検証授業)

(ア) 単元名「石うすの歌」

(イ) 目標(省略)

(ウ) 指導計画(省略)

(エ) 本時の指導

○ 本時のねらい(省略)

○ 音読のねらい

石うすの描写の部分をくり返し音読し、その読み方について話し合うなかで、作品の主題をとらえようとする。

○ 指導過程 省略

(オ) 実践とその考察

本時では、「言葉の意味理解のねらい」に基づく指導をして、石うすの描写に着目し、辞書の意味の把握を経て、中心語句「石うす」と主題とのかかわりをさぐることである。

展開にあたっては、初発の感想から主題を単に「戦争のもたらす不幸」としかとらえきれない児童が数多く予想されるため、石うすの描写(特に「だまって泣いている」から「勉強せえ」の音読のし方を話し合わせるなかで、石うすの歌が、人々の気持ちを表すことを十分児童に認識させた。これにより、千枝子像を明確に浮かび上げらせ、主題に深くせまることができた。

④ 検証授業4とその考察

(情感表出のねらいに基づく検証授業)

業)

(ア) 単元名「やまなし」

(イ) 目標(省略)

(ウ) 指導計画(省略)

(エ) 本時の指導

○ 本時のねらい(省略)

○ 音読のねらい

ゆったりと満足気に泳ぐ魚とかわせみ。すばやい動きの様子を話し合い、その緩急に気を付けた「表現読み」ができるようにする。

○ 指導過程 省略

(オ) 実践とその考察

「情感表出のねらい」に基づく本時の音読の指導は、魚がかわせみに襲われるのを見た兄弟ガニの恐怖や、弱肉強食の世界を深く読みとつたうえで、表現読みすることである。

展開にあたっては、まず、「五月」の場面の終末部分の「心配するな」と父親カニから声をかけられても恐れている子ガニの気持ちを発表させることから、かわせみが魚をとる弱肉強食の世界のすさまじさをとらえさせることにした。そのなかで児童は、子ガニの恐怖を「生まれて初めて見る、すばしっこい魚を殺す程のかわせみの殺りくの速さへの恐怖」と見通した。そこで、その見通したものが、本文の「いきなり・ぎらぎらする鉄砲玉・コンパス・白い腹がひるがえる・居すくまってしまふ」で描写させることに着目させ、自分なりに音読プリント下段に情景をまとめさせた。その後、情景のまとめ